

- ◆ 四国財務局及び管内財務事務所では、財政の現状や社会保障と税の一体改革のほか金融の知識などについて、児童・生徒・学生、若年層への啓蒙を意識し、一緒に考える関係(対話)を構築するため、先方のニーズに応じた広報活動を高松国税局、まち・ひと・しごと創生本部、日本貸金業協会等と連携しながら実施。
- ◆ 親近感を高めるため、「広報若手プロジェクト・チーム」(高知財務事務所)の組成のほか、若手・中堅職員、女性職員を講師として登用。
- ◆ シミュレーションゲームを活用した生徒自身によるアクティブラーニングのほか、「付せん」や「選択肢カード」を用いて「参加型」「対話型」広報に挑戦。

### 1. 成果事例の概要等

四国財務局では、地域連携推進会議(平成27年8月)において、若年層への啓蒙を意識し、一緒に考える関係(対話)を構築するため、①若手・中堅職員の登用、②「参加型」「対話型」広報に挑戦していく27年度の方針を決定。

#### ○ 事前準備

講師の能力向上のため、職場内研修(27年10月)を実施。また、高知財務事務所では、「広報若手プロジェクト・チーム」(以下「広報若手PT」)を組成し、リハーサル(27年11月)を実施。

#### ○ 講師に若手・中堅職員を登用

広報対象が若年層であることから、親近感を高めるため、若手・中堅職員、女性職員を講師に登用(高知財務事務所では「広報若手PT」活用)。

#### ○ 「参加型」「対話型」広報に挑戦

##### ◇ シミュレーションゲームの活用

当局ではタブレット端末を活用したシミュレーションゲームを行い、生徒自身が活動しながら学ぶ「アクティブラーニング」を実施(28年2月:香川大学附属坂出中学校)。

##### ◇ 「付せん」を用いて「見える化」

当局では付せんに財政再建を進めるための意見を記載してもらうことにより「参加型」とし、大きな紙に付せんを貼ることにより「見える化」し「対話型」を実施(27年10月:香川大学法学部(夜間))。

##### ◇ 選択肢カードを用いて全員参加型の座談会

松山財務事務所では財政や社会保障に関する質問に対して、選択肢カードを上げてもらったうえで、意見交換を行う全員参加型の少人数の座談会を実施(28年2月:愛媛大学)。

若手・中堅が講師



シミュレーションゲーム



付せんで見える化



AかBを上げる学生



### 2. これまでの取組の成果等

#### ○ 幹部講師の手応えと生徒の反応

各学校の協力のほか、財務省、高松国税局、まち・ひと・しごと創生本部、日本貸金業協会等との連携により、財政・金融や地方創生に関する若者の意識の啓蒙を行うことができた。

授業を受けた生徒が「財政を黒字化するのには国民の生活に大きな影響を与えその実現は困難を伴うこと」「多様な意見がある中で国民全体が納得するような財政を構築し、それを国民に説得することは大変なことであるということ」を実感してくれた。生徒からは「もう少しすれば、僕たちも選挙や納税が始まるが、僕たちが参加するという気持ちを持って日本を変えていきたい。」という力強い言葉を聞くこともできた。

#### ○ 若手講師の気付き

若手・中堅職員、女性職員が講師となることにより、若者の素朴で率直な質問を引き出すことができた。若手職員自身は、わかりやすく、飽きられずに伝えることの難しさを実感。知識だけでなく、伝える技術、練習が必要と認識。

児童・生徒・学生、若年層への広報活動

区分	学校名	テーマ	実施	特徴
中学	香川大学附属坂出中学校	財政	28年2月	シミュレーションゲームでアクティブラーニング
高校	小豆島高校	租税教室	28年1月	小豆島出身の中堅職員が「とりのこ紙」を用いて説明
	坂出商業高校	租税教室	28年1月	DVDを用いた授業
	琴平高校	金融	28年2月	中堅女性職員、日本貸金業協会が講師
	海部高校	金融・財政	28年2月	若手職員が業務説明
大学	香川大学法学部(夜間)	財政	27年10月	「付せん」に意見を書いてもらい「見える化」
	香川大学経済学部	財政	27年12月	財務省幹部が講師
	香川短期大学	金融	27年12月	多重債務者相談員も講師
	徳島大学総合科学部	財政	27年12月	アンケートを実施
	松山大学経営学部	金融	27年10月	公認会計士・監査審査会幹部が講師
	愛媛大学	財政	28年2月	AかBの選択肢カードを用いて全員参加型の座談会
	高知大学	地方創生	28年2月	まち・ひと・しごと創生本部幹部が講師
専門学校	高知学園短期大学	財政	28年3月	広報若手PTが講師
	高知情報ビジネス&フード専門学校	租税教室	27年9月	広報若手PTが講師デビューに備え勉強のため聴講
	高知開成専門学校	租税教室	27年11月	広報若手PTが講師デビュー

### 3. 今後の課題と四国財務局の対応

#### ◀今後の課題▶

- シミュレーションゲーム等のツールは、生徒が自ら考える良い機会となったが、講師・生徒、生徒間で一体となった対話までには至っていない。今後いかに対話を深めていくかが課題。

#### ◀今後の四国財務局の対応▶

- 講師への若手・中堅職員の登用、「参加型」「対話型」広報は緒についたばかりであり、継続的に行いつつ向上していくことが重要。失敗を恐れずに、挑戦していく。

地元学校や地域の協力を得ながら、「参加型」「対話型」広報への挑戦を継続。